



--

備考
----

デジタルスタンプラリーも含む形で作成可能か確認しながら作成
-------------------------------

---

## ■ヘッダー情報

### 本タイトル

スタンプラリーの費用相場を紹介！紙・デジタルの比較と備品制作にかかる料金のすべて

### 記事概要・ディスクリプション(120文字程度)

スタンプラリーは回遊性・滞在時間に良い影響を与えますが、費用がいくらか気になるのではないのでしょうか。本記事では、スタンプラリーの費用を紙・デジタルごとに詳しくご紹介いたします。コストパフォーマンスを高めるコツも解説いたしますので、スタンプラリーの経済効果を最大限に活かしたいならぜひご一読ください。

## ■本文

<H1>スタンプラリーの費用相場を紹介！紙・デジタルの比較と備品制作にかかる料金のすべて

リード文

▶[スタンプラリーの魅力について詳しく知りたい方はこちら](#)

[https://fun.shachihata.co.jp/rally/lp001/?utm\\_source=google&utm\\_medium=cpc&utm\\_campaign=rally&gad\\_source=1&gclid=Cj0KCQiAjMKqBhCgARIsAPDgWly7giZTY4-JO0eaVdGkhVe0peqvQpT1QFR2tPCrvYIFaYEMElatJzMaAjaxEALw\\_wcB](https://fun.shachihata.co.jp/rally/lp001/?utm_source=google&utm_medium=cpc&utm_campaign=rally&gad_source=1&gclid=Cj0KCQiAjMKqBhCgARIsAPDgWly7giZTY4-JO0eaVdGkhVe0peqvQpT1QFR2tPCrvYIFaYEMElatJzMaAjaxEALw_wcB)

## <H2>スタンプラリー開催にかかる費用相場の比較

スタンプラリーにかかる費用は、スタンプの種類、イベントの規模およびチェックポイントの設置数によってさまざまですが、相場は以下のとおり

### <H3>紙のスタンプラリー

チェックポイントごとにスタンプを配置するタイプのオーソドックスなアナログスタンプラリー

- 常設タイプ:35,000～10万円
- 期間限定タイプ:20万円～50万円

上記のほか、備品の種類やオプションによっても費用が大きく異なる

最低限の機能のみでシンプルなイベントを開催する場合は基本料金のみで済むが、スタンプラリーをさらに面白くするためにはスタンプラリーの開催目的・ターゲット層に合わせてオプションサービスを活用すると良い

### <H3>デジタルスタンプラリー

スタンプラリーのハンコに代わるものとしてデジタル印影を用いる仕組み、以下2通りの制作方法

- アプリ開発
- サービス外注

スタンプラリーのアプリケーションを新規にフルスクラッチ開発するとインシャルコストが数百万円は下らない、数千万円かかることも

手間もかかるうえ開発期間も長い

手軽に導入・低コストで開催するならデジタルスタンプラリーサービスを利用するのがおすすめ

オリジナル印影の制作の有無やサービス内容に含まれる機能によっても費用が異なるが、20万円～50万円程度が相場

なお、無料もしくは安価で利用できるアプリ配信サービスもあり、コスト面だけ見ると魅力的に感じられるが、参加人数やチェックポイント数、開催期間などの制限が厳しい

そのうえ、機能の充実度が今一つ、複数のスタンプは併用できず、オリジナルの印影は自社で用意する必要があり各種登録・設定作業に手間がかかるケースが多い

費用の安さだけでなく、機能・サービス内容のコストパフォーマンスを見極めて選定すること

## <H2>紙のスタンプラリーの費用内訳

[▶スタンプラリー開催の仕組みについて詳しく知りたい方はこちら](#)

### <H3>スタンプ制作

シャチハタ印(浸透印)は1個あたり3,000円～20,000円程度

重ね押しなどデザインやしくみにこだわったスタンプだと1つ約15,000円～25,000円

1回作成すれば何回使いまわしても費用はタダ

スタンプ設置・保護のための専用ホルダーは、1個あたり約1,000円～3,000円、サイズが大きい場合は5,000円～10,000円程度

スタンプマシンを導入する場合は約60,000円～91,500円、スタンパーセット25,000円～30,000円

スタンプは1本(6ミリサイズ)で1,900円

メーカーによっては製版代(印刷代)や送料がかかることも

### <H3>スタンプ台紙

A4サイズのシングル、台紙が2つ折りのダブル、スタンプブックなど

台紙の種類・サイズ・紙の種類によって費用が異なる

A4サイズ両面単色、上質紙への印刷の場合は5,000部:62,000円+消費税～

※シャチハタ様サービス

スタンプ・ブック(子ども・大人向け)

300冊 90,000円

1000冊 300,000円

5000冊 1,500,000円

10000冊 3,000,000円

スタンプラリー用紙 A4両面フルカラー

1,000部 98,000円

3,000部 120,000円

5,000部 126,000円

10,000部 162,000円

シングルタイプの500枚が21,900円、ダブルタイプの500枚は24,000円

### <H3>スタンプ台

ゴム印式のスタンプラリーには地点ごとにスタンプ台の設置も必須

スタンプラリー用には正方形で100mm×100mm程度の大きさもしくは特大サイズのスタンプ台が推奨、費用相場は1台2,000円～3,000円程度

スタンプが小さい場合や一般的な長方形のスタンプ台を購入する場合にかかる費用は1つ1,000円前後

安さではなく、捺しやすさや速乾性、抗菌などスタンプ台の性能も考慮して選ぶこと

シャチハタ印(浸透印)の場合は不要

### <H3>スタンプカウンター

スタンプラリーポイントにスタンプなつ印用の専用カウンターを別途に配置する場合にかかる費用10万円～15万円程度

カウンター上にディスプレイを設置すると看板代わりにもなって便利、費用は1つ1万円前後

### <H3>補充インキ

スタンプ台やシャチハタ印用の補充インキ

スタンプラリーが長期間に渡る場合や大勢の参加が見込まれるケースなどでは、途中でインキ切れになる可能性があるため補充用のスペアを準備しておくが良い

補充インキの費用相場は数百円～1,000円台

スタンプマシン専用の補充インキだと2,000円台が一般的

### <H3>盗難防止対策

スタンプラリー用のスタンプにゴム印タイプのスタンプセットを採用する場合は、盗難防止用のチェーンの準備が必要

1個1,000円程度の費用で揃うため、追加しておく安全

## <H2>デジタルスタンプラリーの費用内訳

[▶ デジタルスタンプラリーについて詳しく知りたい方はこちら](#)

### <H3>アプリケーション利用の基本料金

スマートフォン・タブレットなどを用いたデジタルスタンプラリーの場合は、必要な機能がパックになっているケースが多い

費用は、スタンプラリーに求める機能や開催期間、チェックポイント数などによって数十万円～数百万円まで幅広い

基本料金の費用相場は10万円～50万円程度

スタンプデータの入稿・登録の手数料として2万円

主な機能

- スタンプ取得機能
- 参加者認証
- エリアマップ

なお、スタンプ取得にはQRコードとGPS機能を利用するタイプの2種類があるが、デジタルスタンプラリーでは後者がおすすめ

QRコードより多少費用がかかるものの、認証機器を設置する必要がなく、デジタルスタンプの取得作業も手軽で参加者の不正防止にも役立つため

### <H3>スタンプ数・チェックポイントの追加

スタンプデザインの追加・デジタルスタンプを読み込むQRコード作成などの費用として、追加料金が必要  
チェックポイントの追加は数千円～5万円程度

### <H3>実施期間の延長

1日あたりもしくは1カ月あたりで追加料金が設定されているケースが多い  
短期間すぎるとスタンプラリーの参加者数や効果が少なくなりがちのため、適度な期間を設定すること  
利用期間の追加は、1日につき約3万円、1カ月だと数万円～10万円以内

### <H3>ログデータのダウンロード

デジタルスタンプラリーでは、年齢・性別などの属性や地点ごとのスタンプの取得履歴など、参加者情報が自動的に集積されるため、必要に応じダウンロードして分析に役立てられる  
基本料金に含まれている場合もあるが、安価なプランでは別プランもしくは機能がないケースも多く、別途に約2～3万円の費用がかかる

## <H2>オプションサービスの費用

### <H3>広告制作

スタンプラリーの概要や参加方法、チェックポイントの紹介など、宣伝用のチラシ・ポスターや看板、のぼりなど  
キャンペーンサイトやSNSを制作・運用する場合は  
広範囲に宣伝することができ、イベント内容の確認も手軽で参加者から喜ばれる  
チラシ・ポスター制作16,500、27,500円(印刷費別途)

### <H3>景品

参加者や条件達成時に進呈する景品  
景品のランクによってかかる費用は大きく異なる  
缶バッジやステッカーなどの粗品なら1個200円程度  
ハンカチやクリアファイルなど少しランクをあげても500円以内の費用で準備できる

### <H3>スタッフ派遣

自社リソースでは必要人数を揃えるのが難しい場合は、スタッフ派遣サービスを利用  
人件費は1人1日あたり15,000円～35,000円程度  
専用のユニフォームを作成する費用は1着1,500円～2,000円が相場、送料別途

## <H2>スタンプラリーの費用対効果を高めるコツ

### <H3>適切な数のチェックポイントを設置する

チェックポイントが少なすぎると参加者が十分に楽しめないため、回遊率が上がりにくい

かといってチェックポイントが多すぎると参加者のモチベーション維持が難しい

開催規模・エリアに応じて適切な数のチェックポイントを設置すれば、参加者の回遊率・満足度が上がるため、結果的に費用対効果が高い

### <H3>開催期間・頻度に応じて形式を選択する

デジタルスタンプは基本プランの利用期間に制限があり、追加することにより費用がかかるため、長期間の開催や常設のスタンプラリーだとランニングコストがかさむ

逆に、期間限定および次回開催未定のスタンプラリーでハンコを作成すると、購入した備品は終了後の用途がなくもったいない

開催期間の長さ・実施頻度によってハンコ・デジタルを使い分けると費用が最小限で済む

### <H3>補助金を申請する

スタンプラリーイベントを開催する際、補助金や助成金が申請できる場合がある

自治体や公共団体などが独自で交付する事業補助金や、認定事業者が提供するデジタルスタンプラリー利用時に申請できるIT導入補助金など

補助金を利用するためには応募要件を満たして申請することが必要のため、各補助金の窓口にご相談してみる

## <H2>Shachihata Stampallyは費用に合わせて最適なプランをご提案！

本記事のまとめ

サービス訴求